

第2章 環境配慮指針の活用方法

第2章 環境配慮指針の活用方法

第1章に定める環境配慮指針の内容は、開発事業等の実施にあたって、「環境配慮の手順」(P5)に基づき、「事業・環境特性把握シート」及び「事業別環境配慮チェックシート」に内容を記入して、事業特性や地域の環境特性を適切に把握し、容易かつ効果的に環境配慮を進めるところにあります。

このため、本章では、「事業・環境特性把握シート」及び「事業別環境配慮チェックシート」の記入方法をできるだけわかりやすく説明することにより、本指針が開発事業者等に幅広く活用いただけるものとしします。

また、これらの各シートを蓄積することによって、今後、事業実施において環境配慮を検討する際の参考事例とします。

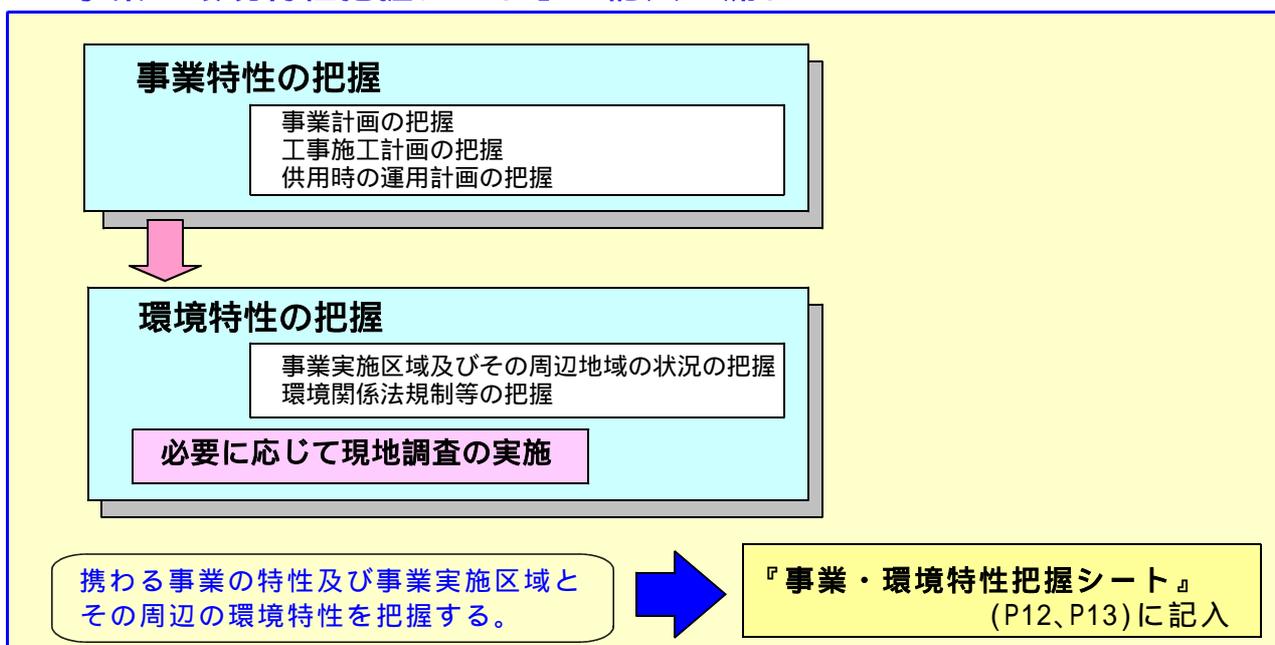
1 「事業・環境特性把握シート」の記入例

「事業・環境特性把握シート」は、実施する事業の特性を把握するとともに、事業実施区域とその周辺の環境特性を把握するために作成し、どのようなことに配慮すべきかを検討する資料となります。

そのため、事業の計画段階のなるべく早い時期に作成します。また、記入したシートについては設計段階及び工事段階に引き継ぎ、必要に応じて追加記入等を行い、効果的に環境配慮を進めます。



「事業・環境特性把握シート」の記入の流れ



「事業・環境特性把握シート」の記入例

| 事業・環境特性把握シート(1/2) | | |
|-------------------|--|---|
| 記入者 | (所属) | |
| | (氏名) | |
| | (連絡先) | |
| 配慮の段階 | 計画 設計 工事 | |
| 1.事業の概要 | | |
| 事業の区分 | 道路・街路整備事業 | |
| 事業名 | 事業 | |
| 実施場所 | 石川県 町 地内～石川県 地内 | |
| 事業主体 | 石川県 部 課 | |
| 実施期間 | 平成 年 月～平成 年 月 | |
| 全体事業費 | 万円 | |
| 事業規模等 | 施工延長 km 位置図を添付して下さい。 | |
| 事業の概要 | 事業の目的 | 本事業は、……………目的としている。 |
| | 工法の概要 | |
| | 施設の構造 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4車線の道路 ・ 設計速度60km/h ・ 道路規格 第3種2級 ・ 交通量 20,000台/日以上 |

配慮を検討する段階にチェック。

本指針で定める11事業区分を記載(P19参照)

施工区間等、事業規模等を記入。

事業・環境特性把握シート(2/2)

2.事業実施区域とその周辺の環境特性

(1/1)

当事業区域周辺(区域から200mの範囲)には、民家の立地はない。
事業区域周辺には豊かな自然環境が残されており、地区周辺では、石川県レッド
データブックに指定されている「 」が確認されている。そのため、現地調査を実施
した。その結果、 が確認された(詳細は添付資料に示す)。

……。
……。
etc

- ・以上のことから、環境配慮の検討にあたっては、特に自然環境に配慮する
こととした。

記入スペースが不足
する場合は、随時、
ページを追加し、ペー
ジ枚数を記入する。

「2.事業実施区域とその周辺の環境特性」の記入にあたり

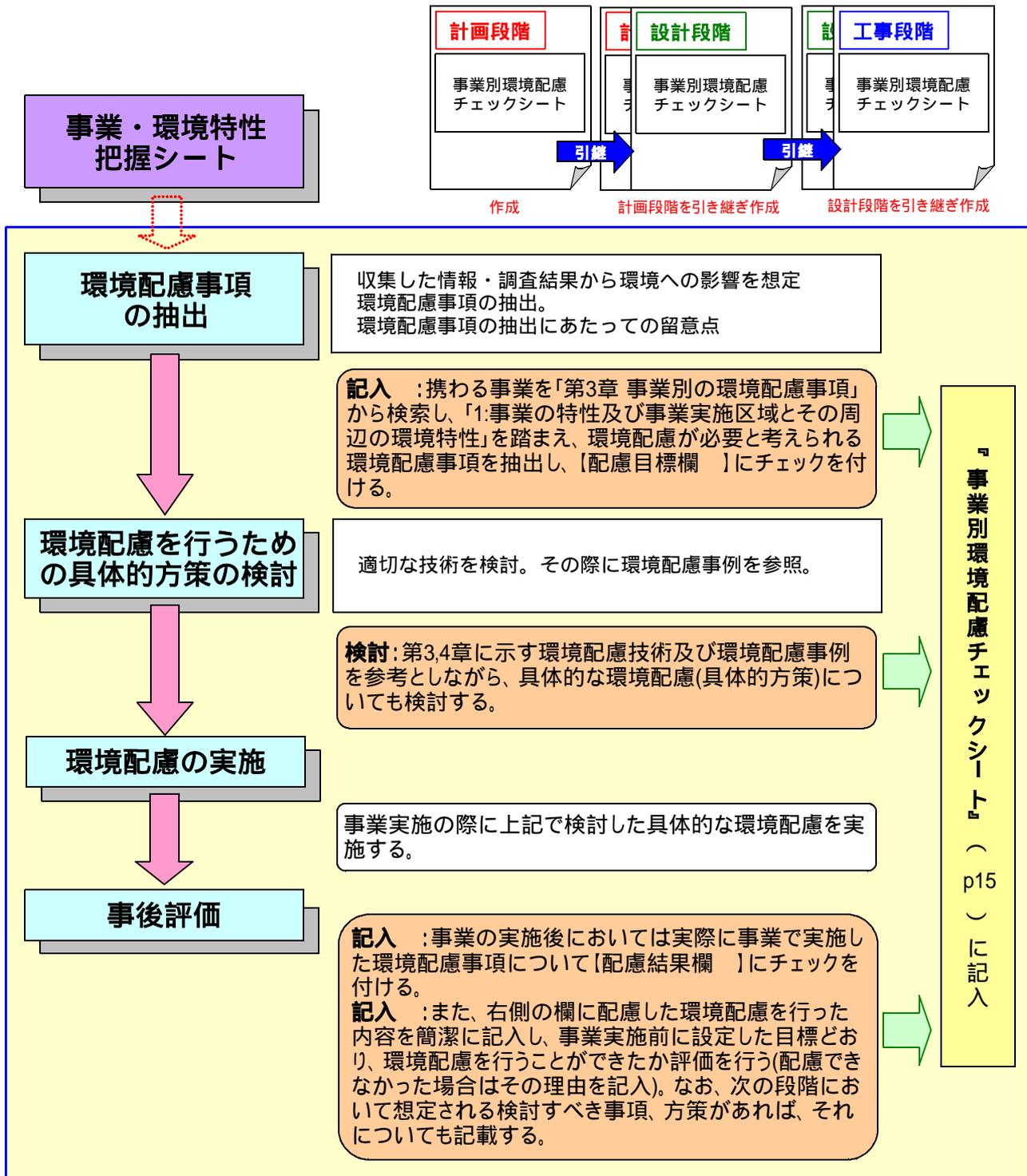
「2.事業実施区域とその周辺の環境特性」の記入は、p6に示す環境特性把握事項及び
事業別環境配慮事項(p21～p31)を睨みながら、事業の位置、規模、特性等を勘案
し、当該事業の実施において環境への負荷低減や周辺環境への配慮など環境配慮事項
を抽出する際に必要と考えられる環境特性を記載する。
また、記載に当たっては、本指針の巻末資料に示す「県内外環境関係情報資料」の各項
目に示す文献等を参考としながら、事業実施区域とその周辺の環境特性(民家の立地
状況、大気・水質といった生活環境の状況、自然環境の状況等)について、資料等を
用いながら分かりやすく整理する。

(備考)記入にあたり参考とした資料は添付する。

2 「事業別環境配慮チェックシート」の記入例

「事業別環境配慮チェックシート」は、計画・設計・工事の各段階ごとにおいて、前述の「事業・環境特性把握シート」の記入事項(場合によっては、前段階の「事業別環境配慮チェックシート」による引き継ぎ事項)を踏まえ、環境配慮事項を検討し、作成します。また、各段階の事業実施後においては、事前に設定した目標どおり環境配慮を行うことができたか評価を行います。

「事業別環境配慮チェックシート」の記入の流れ



「事業別環境配慮チェックシート」の記入例

道路・街路整備事業

事業が該当する段階の印を確認する。

環境配慮を行う段階にチェックを付ける。

| 事業名 | | 工事 | | | チェックの段階 | | 計画 | 設計 | 工事 |
|------|--|-----------------|--|--|---------|--|----|----|-------------------------------------|
| 実施場所 | | 町 地内 | | | 計画 | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 実施期間 | | 平成 年 月 ~ 平成 年 月 | | | 設計 | | | | |
| 実施期間 | | 平成 年 月 ~ 平成 年 月 | | | 工事 | | | | |

| 環境要素区分 | 環境配慮事項 | 配慮目標 | 具体的方策 | 配慮の検討が必要な段階(印) | | | 配慮結果 | 配慮を行った具体的方策 or 配慮できなかった理由 | 配慮技術記載頁 |
|--|---|---|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--|--|---------|
| | | | | 計画 | 設計 | 工事 | | | |
| A 環境の構 成 な 状 態 の 保 持 | (1) 路線の選定は、地域環境の保全、土地利用等との整合を図る。 | ✓ | ○ 複数路線や基本構造の検討 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ✓ | 3ルートを検討。 町 地区を回避。 | 33 p |
| | | | ○ 住宅密集地を回避 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | |
| | | | その他:() | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | |
| | (2) 検討：第3.4章に示す環境ネットワークとして道路網より配慮技術及び環境配慮事例を参考としながら、具体的な環境配慮(具体的方策)についても検討する。 | ✓ | ○ 線道路への接続 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | 記入：環境配慮を行った内容又は配慮できなかった理由を簡潔に記入するとともに、次の段階において想定される検討すべき事項、方策があれば、それについても記入する。 なお、必要に応じて詳細を別紙に記入する。 | 34 p |
| | | | ○ 本交差化の検討 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | |
| | | | ○ 交差点での付加車線の設置 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | |
| (3) 周辺環境に配慮した道路構造を検討する。 | ✓ | ○ トンネル構造や掘割構造の検討 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ✓ | 一部トンネル区間の設置。 | 36 p | |
| | | ○ 橋梁の連続桁化などの検討 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| | | ○ 縦断勾配が緩い道路構造の検討 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| (4) 周辺への大気汚染や騒音による影響の緩和を図る。 | ✓ | ○ 防音壁の設置 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | 設計段階において防音壁の設置、緩衝緑地の設置の検討が必要。 | 37 p | |
| | | ○ 緩低 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| | | ○ 低用 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| (5) 防音壁、防音シート等の仮設 | ✓ | ○ 工事車両の走行ルートの分散等 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | 設計段階において防音壁の設置、緩衝緑地の設置の検討が必要。 | 40 p | |
| | | ○ 工事による粉じんの発生、飛散防止として散水や加湿の実施、防じんシートの布設 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| | | ○ 一時期に環境負荷が集中しない工事計画の策定 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| (6) 工事中の汚水・濁水の流出に伴う周辺環境への影響の低減に配慮する。 | ✓ | ○ 汚水・濁水の発生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | 事業の各段階の実施後においては、事業実施前に設定した目標どおり環境配慮を行うことができたか、評価を行う。 | | |
| | | ○ 工法の検討 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |